

物流ネットワーク強化に向けた支援

テーマ	物流ネットワーク強化
キーワード	重要物流道路

迅速かつ円滑な物流の実現

国際的な都市間競争が激化し、我が国の成長力を確保することが喫緊の課題となる中、交通は、成長を牽引する経済活動と多くの国民の豊かな暮らしを支える基盤であるが、我が国の道路ネットワークは貧弱であるとともに、そのネットワークを十分に使いきれておりません。

このような状況の中、迅速かつ円滑な物流の実現により国際競争力の強化を図るため、三大都市圏環状道路や空港・港湾等へのアクセス道路等、物流ネットワークの強化を支援します。

検討内容

物流ネットワークの強化を推進するため、既存のネットワークを賢く使うことも視野に、三大都市圏環状道路を始めとした高規格道路、臨港道路の他、港湾、空港、IC等の整備と連携して行われるアクセス道路の整備について、必要性や具体的な構造について検討します。

1. 整備路線の抽出

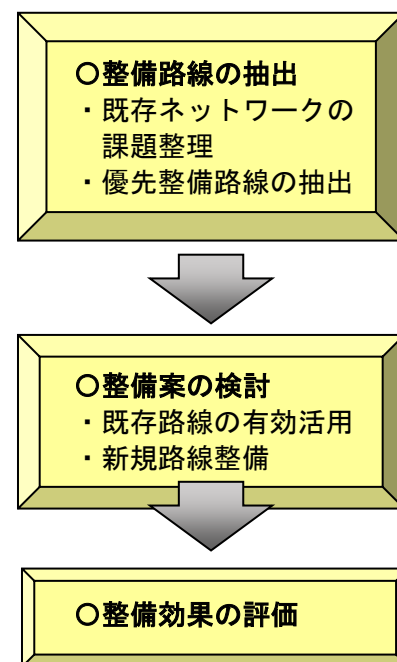
既存ネットワークの課題を整理し、効果的、効率的に整備効果を発現するために優先的に整備すべき路線を選定します。

2. 整備案の検討

走行性、安全性、経済性(ライフサイクルコスト)、施工性、周辺環境に配慮する等、総合的な観点から新規路線整備案を検討します。また、既存路線の有効活用案についても検討する等、地域状況に基づいた整備計画を立案します。

3. 整備効果の評価

路線整備等に基づく効果について、適切に評価し、事業の妥当性について検証します。



日本工営株式会社

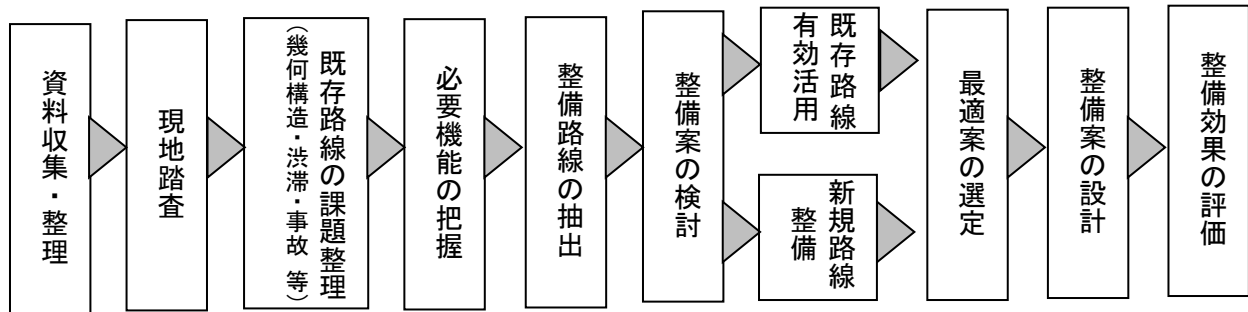
お問合せ

内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。

URL <http://www.n-koei.co.jp/contact/>

実施フロー

当社は、物流ネットワークの強化に向けて、調査計画～設計～整備効果までの一連の流れにおいて実績を有しています。



支援メニュー

○道路交通状況のきめ細やかな把握

ETC2.0等のビッグデータを活用し、渋滞や事故等の既存ネットワークの課題について、顕在化している事象と合わせて、潜在的な事象についても把握すると共に、経路情報等についても「見える化」する等、道路交通状況について、きめ細やかに把握します。

○様々な技術者による新規路線整備案の提案

- ・豊富な知識と経験を有する様々な分野の技術者が、新技術・新工法も含めて最適なルート、構造を検討します。
- ・主要施設へのアクセスを改善する路線やスマートICについて検討する他、国際コンテナ戦略港湾や国際空港等の機能強化についてもあわせて検討します。

○現地状況に即した様々な既存道路活用策の提案

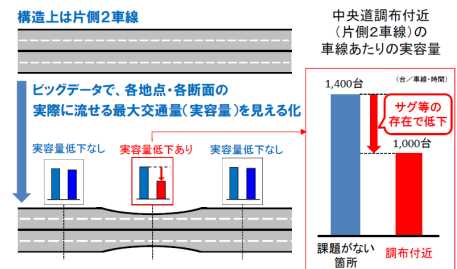
周辺状況、交通状況、線形等に応じ、既存のネットワークの最適利用を図るためのきめ細やかな対策を検討します。

- ・追い越し車線の設置
- ・4車線化等の現道拡幅
- ・車線運用の見直しによる暫定3車線運用等

○様々な視点からの効果評価分析

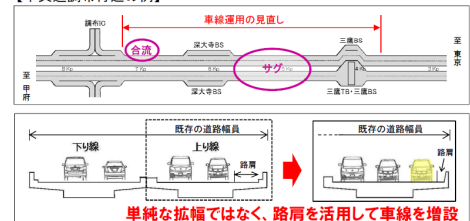
一般的な3便益（時間短縮、経費減少、事故減少）に加え、空間的応用一般均衡モデル（SCGEモデル）等により、物流等に関する便益についても算定する等、路線特性を踏まえて様々な視点から効果を分析します。

○ビッグデータに基づく「賢い投資」



<ビッグデータで、各地点・各断面の実際に流せる最大交通量（実容量）を見る化>

【中央道調布付近の例】



<実容量の低下箇所をピンポイントで是正>



※出典：国土交通省 HP

(<http://www.mlit.go.jp/common/001101929.pdf>)

(<http://www.mlit.go.jp/common/001098489.pdf>)